



令和 6年 1月 9日

報道機関 各位

インドネシア、ベトナムの大学生が交通騒音解決に挑む
～島根大学の音響デザイン研究を学び、健康的な住環境の実現へ～

◆本件の概要

島根大学総合理工学部建築デザイン学科では、1月14日(日)～1月20日(土)、チプトラ大学スラバヤ校(インドネシア)、ハノイ工科大学(ベトナム)から、大学生8名、教員2名、計10名を招へいし、プログラムを実施します。

インドネシアやベトナムでは、住宅密集地域が道路に隣接しており、多くの住民が交通騒音に悩まされているにもかかわらず、対策がおろそかになっているのが現状です。

本プログラムでは、学生らが日本の「地域住民の健康と快適性を確保する取り組み」や、騒音を遮断できる建材の設計や応用、健康的な音環境を実現できる音響デザイン方法を学び、自国の騒音問題解決への糸口を見いだすことを目指します。

- 【実施内容】 ●音環境シミュレーション ●建築環境の講義
●3Dプリンタで吸音材を作成
●ホール音響評価実験 ●交流発表会・作品(吸音材)のプレゼンテーション

【実施場所】 島根大学音響研究室、島根県民会館大ホール

■ 研修内容・日程などの詳細は添付資料をご確認ください。 ■

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えて下さい

島根大学 総合理工学部 建築デザイン学科 助教 ギイエン・ツラン
TEL: 0852-32-6214 Mail: lan[at]riko.shimane-u.ac.jp

島根大学 企画部 企画広報課 広報グループ
TEL: 0852-32-6603 Mail: gad-koho[at]office.shimane-u.ac.jp



【添付資料: あり(2 枚) なし】

<取材のお願い>

2024年1月9日

島根大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

インドネシア、ベトナムの大学生が交通騒音解決に挑む ～島根大学の音響デザイン研究を学び、健康的な住環境の実現へ～

島根大学総合理工学部建築デザイン学科では、1月14日（日）～1月20日（土）、チブトラ大学スラバヤ校（インドネシア）、ハノイ工科大学（ベトナム）から、大学生8名、教員2名、計10名を招へいし、プログラムを実施します。

世界保健機関（WHO）により、交通騒音などによる夜間の室内騒音レベルが30dBAを超えると、不眠症や高血圧、心疾患など、健康に影響を及ぼすことが明らかになっています*（*1999年4月にイギリスのロンドンで開催されたWHO専門家対策委員会により発表されたGuidelines for Community Noiseによる）。発展途上国では、急激な経済成長に伴い交通量が増加し、住環境に対する騒音の影響が懸念されています。特にインドネシアやベトナムでは、住宅密集地域が道路に隣接しており、多くの住民が交通騒音に悩まされているにもかかわらず、対策がおろそかになっているのが現状です。

音環境を正確に制御するためには、音響デザインに関する専門的な知識と経験が必要です。本プログラムでは、招へい学生らが日本の「地域住民の健康と快適性を確保する取り組み」や、騒音を遮断できる建材の設計や応用、健康的な音環境を実現できる音響デザイン方法を学び、自国の騒音問題解決への糸口を見いだすことを目指します。

具体的には、島根大学音響研究室で精密測定機器やアプリケーション・ソフトウェアの使い方を学んだり、島根県民会館大ホールで音響評価実験を体験したりします。また、室内騒音レベルを低減させるために最も効果的と考える吸音材を、招へい学生が自らデザインし、実際に3Dプリンタで作成します。招へい学生らは作成した吸音材を使って無響室で評価実験を行い、1月19日の交流発表会で実験結果とともにその吸音材を披露します。そして、日本と東南アジアの建築の違いや特徴などをふまえ、日本の学生や教員と議論を深めます。本プログラムをきっかけとして、島根大学との共同研究へと発展し、招へい学生らがアジアの騒音問題解決を牽引するリーダーとして活躍することが期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交



つきましては、招へい者が本学の音響研究室で音環境シミュレーションを学ぶ様子、建築デザイン学コース大学院生と一緒に講義を受ける様子、建材の音響特性の測定・評価実験に参加する様子、3Dプリンタで吸音材を作成する様子、ホールの音響評価実験をする様子、交流発表会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当のグイエン・ツラン助教へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●音環境シミュレーション ●建築環境の講義
 ●3Dプリンタで吸音材を作成
 ●ホール音響評価実験 ●交流発表会・作品（吸音材）のプレゼンテーション

【実施場所】 島根大学音響研究室、島根県民会館大ホール

【研修日程概要】

1月14日(日)	午後：松江着
1月15日(月)	午前：島根大学松江キャンパスの見学・建築環境の講義の参加（島根大学） 午後：音響研究室にて音環境シミュレーションを学ぶ（同上）
1月16日(火)	午前：建材の音響特性の測定・評価実験（島根大学） 午後：建物内の物理指標の測定および主観的評価（同上）
1月17日(水)	終日：建材の形状を調整して、3Dプリンタで吸音材を作成（島根大学）
1月18日(木)	午前：島根県民会館大ホールでの音響評価実験（島根県民会館） 午後：評価実験のデータ分析、シミュレーションの結果まとめ（島根大学）
1月19日(金)	午前：交流発表会① 吸音材のデザイン結果の報告、作品のプレゼンテーション（島根大学） 熊本大学 矢野隆名誉教授による講義（同上） 午後：交流発表会② 吸音材のデザイン結果の報告、作品のプレゼンテーション（同上）
1月20日(土)	午前：米子空港発 午後：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

島根大学総合理工学部 建築デザイン学科

電話：0852-32-6214 Eメール: lan[at]riko.shimane-u.ac.jp （担当：ラン）

島根大学 企画部 企画広報課 広報グループ

電話：0852-32-6603 Eメール: gad-koho[at]office.shimane-u.ac.jp